

KAJIMA CORPORATION

CORPORATE PROFILE

in 鹿島

時代に応え、明日を担う

自然と向き合い、その威力と対峙しつつ、一方で調和と共生を図っていくこと。

そして、安全で安心できる、持続可能な社会を次世代へ受け渡すこと。

それが、私たちの使命です。

鹿島は、3世紀にわたる歩みを止めることなく、過去から現在、

さらには100年先の未来までも見据えて、社会へ貢献していきます。

経営理念

全社一体となって、
科学的合理主義と人道主義に基づく
創造的な進歩と発展を図り、
社業の発展を通じて社会に貢献する。

すべては
「現場」から
はじまる



最先端の開発技術や、
さまざまな分野の専門家たちの提案は、
ものづくりの最前線へと活かされます。

どのようなプロジェクトでも、
現場を支える熟練の技術者たちを統括し、

円滑に、安全に、そして着実に。

全社が一体になって取り組むことで、

高品質なものづくりを実現します。



技術で未来に挑戦する



今までに例のない、新たな領域を切り拓こうとするとき、
私たちの前には多くの課題が立ちふさがります。

それらに積極的に立ち向かい、常に挑戦を続ける姿勢こそ、
創業から脈々と受け継がれる鹿島の「進取の精神」。

未来へとつながる技術開発と現場での実践で、
これからの時代をリードします。

Civil Engineering

土木

鹿島は、国内外の交通網やエネルギー施設をはじめさまざまな社会基盤整備に携わってきました。それは、人々の安全で快適な暮らしを支え、国や地域の発展をサポートするものです。社会のニーズや担い手不足など建設業の抱える課題の解決に向けて、豊富な経験と実績で培った技術力をベースに革新的な技術開発を進め、生産性向上、施工の合理化、安全性の確保に取り組み“魅力ある土木”を目指します。



新名神高速道路 高槻インターチェンジ |大阪府|2019|



五ヶ山ダム |福岡県|2018|



銀座六丁目10地区第一種市街地再開発事業に伴う公共施設整備工事のうち地下連絡通路整備工事及び東電管路移設等工事 |東京都|2018|



新名神高速道路 箕面トンネル西 |大阪府|2018|



首都高速道路 横浜環状北線 鉄道交差部 |神奈川県|2017|



新東名高速道路 臼子川橋 | 愛知県 | 2015 |



東邦ガス 知多緑浜工場 No.2LNGタンク | 愛知県 | 2009 |



東京駅丸の内駅前広場 | 東京都 | 2018 |



阪神高速道路 大和川線シールド | 大阪府 | 2019 |



阪神高速道路 大和川線 三宝ジャンクション | 大阪府 | 2016 |



東京国際空港 (羽田空港) D滑走路 | 東京都 | 2010 |



首都圏中央連絡自動車道 裏高尾橋 | 東京都 | 2012 |



東京外環自動車道 国分工事 | 千葉県 | 2019 |



首都高速道路 中央環状品川線 (五反田出入口) | 東京都 | 2015 |



倉敷国家石油ガス備蓄基地 | 岡山県 | 2012 |



武蔵水路改築事業 | 埼玉県 | 2016 |



京極発電所 上部調整池 | 北海道 | 2014 |



浜岡原子力発電所 防波壁 (西工区) | 静岡県 | 2016 |



アルジェリア東西高速道路 | アルジェリア | 2016 |



カレベダム | インドネシア | 2011 |



エチオピア幹線道路改修工事 | エチオピア | 2016 |



東京大学 宇宙線研究所大型低温重力波望遠鏡施設 | 岐阜県 | 2014 |



高田地区海岸災害復旧工事 | 岩手県 | 2016 |



タンジュンプリオク高架橋 | インドネシア | 2017 |

明日を見据えた技術開発

お客様の要望、社会の要請に応えるために、現場は日々、挑戦を続けています。
 挑戦の原動力は鹿島がたゆまなく磨き続けた技術力にあります。
 高い水準の技術開発は、豊かな国土の創出と社会の発展を支えるだけでなく、
 災害時の起動力となり、時に災害復旧活動へと応用されています。

土木 ICTが担う生産性革命

クワッドアクセル 次世代の建設生産システム「A⁴CSEL[®]」

「A⁴CSEL」とは、計測装置や制御PCを搭載して自動化した建設機械に、管制室から指示を送信するだけで、作業を自律・自動で行うという鹿島が開発した世界初の施工システムです。
 これまでに九州の3つのダム工事に導入し実績を積み、2020年からは秋田県で施工中の成瀬ダムで、最大23台の自動化建設機械が連携して昼夜連続で稼働し、日本最大の台形CSGダムを作ります。また、A⁴CSELの自動化施工技術をもとに国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）と月面有人探査の拠点建設にむけた共同研究を進めています。

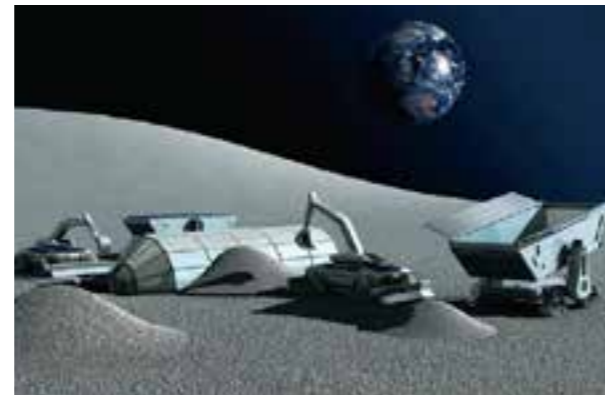
第19回国土技術開発賞 最優秀賞



成瀬ダムで堤体打設を行う自動化重機



ITパイロットが自動化重機に指示を出す成瀬ダム管制室



月面での拠点建設作業イメージ

建築 世界をリードし続ける制震構造技術

ハイダックス アール 制震技術の最上位クラス「HiDAX-R」

鹿島は、F1マシンのブレーキ制御などに用いるエネルギー回生システムの原理を建物に応用した「HiDAX-R (Revolution)」を開発しました。世界初、VERS（振動エネルギー回生システム）搭載の新世代制震オイルダンパです。建物が揺れるごとに振動エネルギーを回収し、即座に自らの制震エネルギーとして再利用します。風揺れから震度7の大地震までカバーするのはもちろんのこと、頻度の高い震度4～5クラスの地震や長周期地震動に特に高い効果を発揮し、一般的な制震構造と比較して揺れ幅を半減、揺れが収まるまでの時間を劇的に短縮することが可能です。

第45回日本産業技術大賞 文部科学大臣賞



HiDAX-R



Otemachi One



建物躯体への取付例

日々の技術開発を応災につなげる

地震や台風、近年頻発する集中豪雨などの自然災害が発生した際、人々の安全を確保し、一日も早い復旧並びに社会インフラの早急な再開に向けた取り組みを行うことは建設業の使命です。私たちは、日々、社会のニーズに合った技術開発を行うことで、一日も早い復旧・復興と経済活動の再開のために、防災・減災を目指しています。



令和元年台風19号で決壊し緊急復旧工事を行った千曲川堤防



福島県大熊町の復興の拠点となる大熊町役場



福島第一原子力発電所3号機燃料取り出し用カバー設置工事